

函館市医療・介護連携推進協議会
情報共有ツール作業部会 第17回会議

日時：令和5年3月6日（月） 19：00～

場所：函館市医師会病院 5階講堂

【次第】

1 開 会

2 議 事

○報告事項

- (1) モニタリングの結果について（資料1）
- (2) 医療・介護連携における ID-Link の普及に向けた動きについて（資料2）

○協議事項

- (1) はこだて医療・介護連携サマリーQ&A
及びモニタリング集計結果について（資料3）
- (2) サマリリーの修正箇所について（資料4）
- (3) 応用ツールの原案について（ACP様式）
- (4) はこだて医療・介護連携サマリリーの全国展開に向けて

3 その他

- ・次回の部会日程について

4 閉 会

【配付資料】

- 1 モニタリング集計
- 2 道南メディカ活用連携 試験運用ヒアリング調査
- 3 はこだて医療・介護連携サマリーQ&A及びモニタリング集計結果
- 4 サマリリーの修正箇所

函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会
第17回会議 出席者名簿

※★…部会長および副部会長 ○…幹事

(敬称略)

分野	所属団体	氏名	勤務先
医療	公益社団法人 函館市医師会	○幹事 佐藤 静	函館市医療・介護連携支援センター
	一般社団法人 函館歯科医師会	大内 英樹	大内歯科医院
	一般社団法人 函館薬剤師会	星野 志津代	(有)みすず調剤薬局 宮前店
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	今野 美幸 ※欠席	社会福祉法人 北海道社会事業協会函館病院 函館協会病院
	道南在宅ケア研究会	岡田 晋吾	医療法人社団 守一会 北美原クリニック
	函館地域医療連携実務者協議会	★部会長 亀谷 博志	社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院
		熊倉 慎治	市立函館病院 事務局
一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	石井 義人	社会医療法人 高橋病院	
介護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	小平 涼子 ※欠席	ケアプランセンターくりの木
		(代理) 青木 美香	居宅介護支援事業所 花笑み
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	松野 陽	函館市地域包括支援センターたかおか
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	吉荒 龍哉	介護老人保健施設 ケンゆのかわ
	道南訪問看護ステーション連絡協議会	保坂 明美	訪問看護ステーション フレンズ

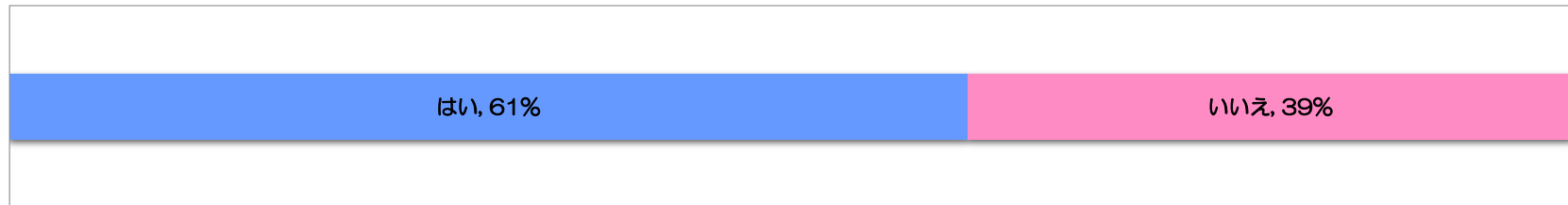
情報共有ツール作業部会 はこだて医療・介護連携サマリー モニタリング
 ○活用状況調査集計結果 R4.7.1~R4.12.31分

《所属機関》

種 別	(n=124)			(n=172)			(n=157)		
	第10回			第9回			第8回		
	R4.7.1~R4.12.31分			R4.1.1~R4.6.30分			R3.7.1~R3.12.31分		
	配布件数 (a)	回収件数 (b)	種別ごと 回収率 (b)/(a)	配布件数 (a)	回収件数 (b)	種別ごと 回収率 (b)/(a)	配布件数 (a)	回収件数 (b)	種別ごと 回収率 (b)/(a)
① 入院医療機関	24件	16件	67%	24件	19件	79%	24件	17件	71%
② 居宅介護支援事業所	97件	48件	49%	98件	51件	52%	98件	51件	52%
③ 包括支援センター	10件	8件	80%	10件	9件	90%	10件	8件	80%
④ 訪問看護	29件	10件	34%	29件	13件	45%	26件	14件	54%
⑤ 短期入所生活介護	28件	8件	29%	28件	10件	36%	28件	8件	29%
⑥ 短期入所療養介護	10件	0件	0%	10件	1件	10%	10件	0件	0%
⑦ 特定施設入居者生活介護	12件	0件	0%	12件	7件	58%	12件	7件	58%
⑧ 小規模多機能型居宅介護	20件	6件	30%	21件	8件	38%	21件	6件	29%
⑨ 認知症対応型共同生活介護	48件	10件	21%	48件	13件	27%	47件	11件	23%
⑩ 地域密着型特定施設入居者生活介護	13件	1件	8%	13件	5件	38%	13件	4件	31%
⑪ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	5件	2件	40%	5件	2件	40%	5件	2件	40%
⑫ 看護小規模多機能型居宅介護	6件	2件	33%	6件	1件	17%	5件	0件	0%
⑬ 介護老人福祉施設	17件	8件	47%	17件	9件	53%	17件	11件	65%
⑭ 介護老人保健施設	8件	2件	25%	8件	5件	63%	8件	2件	25%
⑮ 介護医療院	3件	1件	33%	3件	1件	33%	3件	0件	0%
⑯ サ付・有料	92件	2件	2%	93件	17件	18%	90件	16件	18%
合 計	422件	124件		425件	171件		417件	157件	

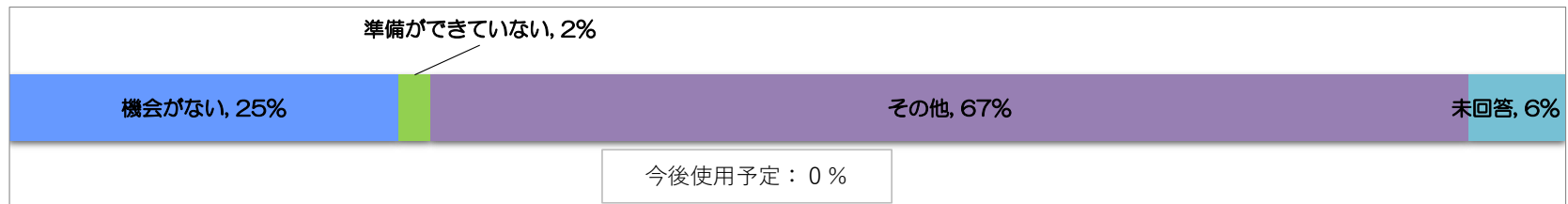
(1) 貴所属機関では、「はこだて医療・介護連携サマリー」（以下「サマリー」と表記）を作成し、情報共有に活用されたことがありますか。

項目	第10回		第9回		第8回		第7回		第6回	
	R4.7.1~R4.12.31分		R4.1.1~R4.6.30分		R3.7.1~R3.12.31分		R3.1.1~R3.6.30分		R2.7.1~R2.12.31分	
	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合
① はい	76件	61%	85件	49%	90件	57%	87件	60%	104件	51%
② いいえ	48件	39%	87件	51%	67件	43%	59件	40%	100件	49%
合計	124件		172件		157件		146件		204件	



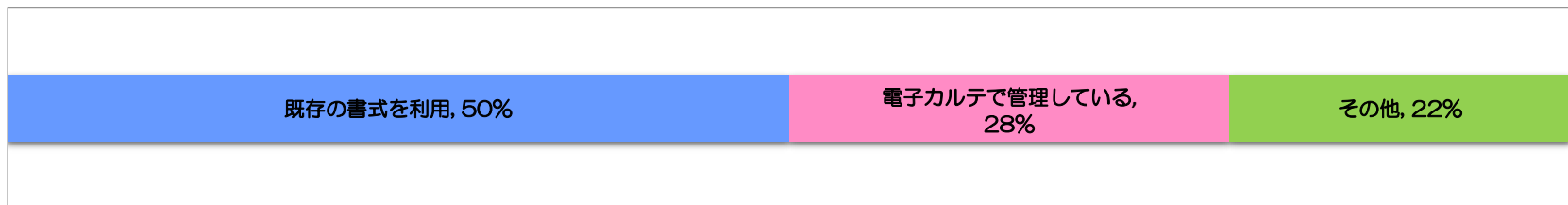
・②いいえの理由。

項目	第10回		第9回		第8回		第7回		第6回	
	R4.7.1~R4.12.31分		R4.1.1~R4.6.30分		R3.7.1~R3.12.31分		R3.1.1~R3.6.30分		R2.7.1~R2.12.31分	
	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合
■活用していないとの回答のうち	48件		87件		67件		59件		100件	
① 機会がない	12件	25%	20件	23%	8件	12%	5件	8%	18件	18%
② 今後使用予定	0件	0%	3件	3%	1件	1%	2件	3%	3件	3%
③ 準備ができていない	1件	2%	1件	1%	1件	1%	3件	5%	4件	4%
④ その他	32件	67%	55件	63%	49件	73%	43件	73%	62件	62%
⑤ 未回答	3件	6%	8件	9%	8件	12%	6件	10%	13件	13%



・②いいえのうち、その他の理由。

項目	第10回		第9回		第8回		第7回		第6回	
	R4.7.1~R4.12.31分		R4.1.1~R4.6.30分		R3.7.1~R3.12.31分		R3.1.1~R3.6.30分		R2.7.1~R2.12.31分	
	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合
■その他との回答のうち	32件		55件		49件		43件		62件	
① 既存の書式を利用	16件	50%	30件	55%	19件	39%	23件	53%	46件	74%
② 電子カルテで管理している	9件	28%	6件	11%	8件	16%	7件	16%	5件	8%
③ その他	7件	22%	19件	35%	22件	45%	13件	30%	11件	18%



(2) (1)で「①はい」とお答えされた方にお伺いします。

ア 令和4年7月1日から令和4年12月31日までの期間で、何件の「サマリー」を作成されましたか？

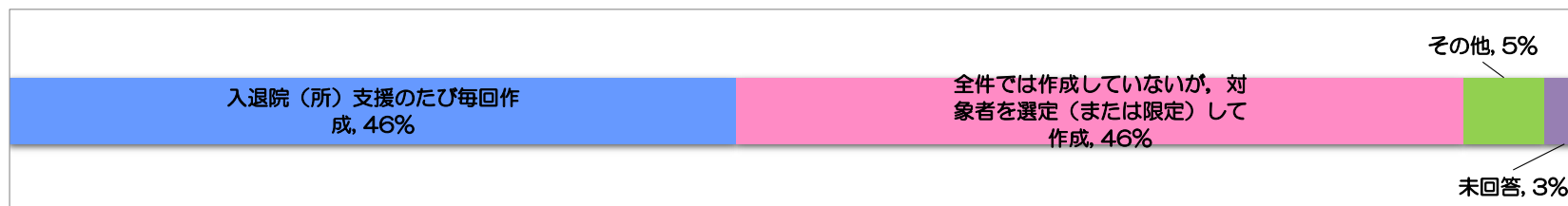
- ・最大作成件数は850件
- ・1機関の平均活用件数は21件

イ どのような機会に作成し、活用していますか。(複数回答あり)

項目	第10回		第9回		第8回		第7回		第6回	
	R4.7.1~R4.12.31分		R4.1.1~R4.6.30分		R3.7.1~R3.12.31分		R3.1.1~R3.6.30分		R2.7.1~R2.12.31分	
	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合
① 入院(所)時	57件	55%	65件	53%	80件	68%	72件	55%	91件	69%
② 退院時	22件	21%	24件	20%	10件	9%	26件	20%	6件	5%
③ 転院時	4件	4%	7件	6%	4件	3%	8件	6%	5件	4%
④ サービス事業所へ(新規依頼時等)	9件	9%	9件	7%	11件	9%	14件	11%	15件	11%
⑤ その他	12件	12%	17件	14%	10件	9%	12件	9%	12件	9%
⑥ 未回答	0件	0%	0件	0%	2件	2%	0件	0%	3件	2%
合計	104件		122件		117件		132件		132件	

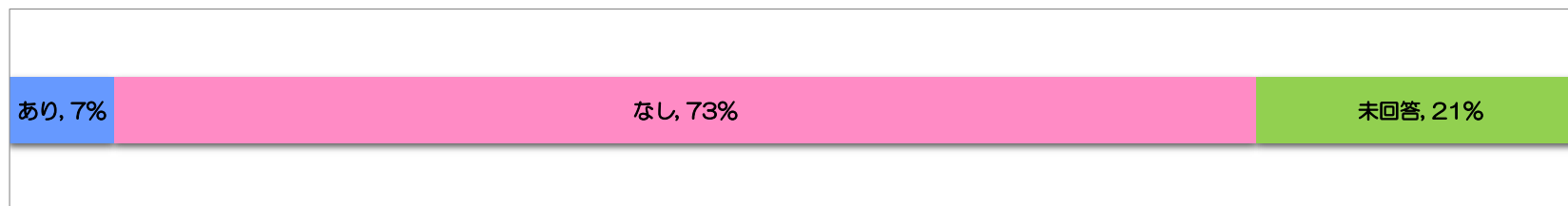
ウ どのくらいの頻度でお使いですか。（複数回答あり）

項目	第10回		第9回		第8回		第7回		第6回	
	R4.7.1~R4.12.31分		R4.1.1~R4.6.30分		R3.7.1~R3.12.31分		R3.1.1~R3.6.30分		R2.7.1~R2.12.31分	
	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合
① 入退院（所）支援のたび毎回作成	36件	46%	50件	53%	54件	49%	45件	47%	59件	57%
② 全件では作成していないが、対象者を選定（または限定）して作成	36件	46%	37件	39%	45件	41%	41件	43%	36件	35%
③ その他	4件	5%	7件	7%	10件	9%	9件	9%	8件	8%
④ 未回答	2件	3%	0件	0%	1件	1%	1件	1%	1件	1%
合計	78件		94件		110件		96件		104件	



(3) 「サマリー」の内容について、見直しが必要な箇所があると思われますか。

項目	第10回		第9回		第8回		第7回		第6回	
	R4.7.1~R4.12.31分		R4.1.1~R4.6.30分		R3.7.1~R3.12.31分		R3.1.1~R3.6.30分		R2.7.1~R2.12.31分	
	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合
① あり	8件	7%	10件	6%	13件	8%	14件	10%	19件	9%
② なし	87件	73%	109件	63%	113件	72%	98件	67%	122件	60%
③ 未回答	25件	21%	53件	31%	31件	20%	34件	23%	63件	31%
合計	120件		172件		157件		146件		204件	



○ 作成しない理由

《医療機関》

- ・ 当院独自のサマリー使用（他3件）※他院からの転院時等では活用させていただいています
- ・ 電子カルテに導入されていない（他2件）

《居宅介護支援事業所》

- ・ 既存の用紙を使用している（他6件）
- ・ 業務が多忙でサマリリーの作成が困難
- ・ 書類が複雑で量も多いため
- ・ この半年は機会がありませんでした

《包括支援センター》

- ・ 利用する機会がなかった（他2件）
- ・ 医療機関からのtel相談等受付し、調整業務は包括、居宅が主になるため引継ぎし終了している

《訪問看護》

- ・ 利用機会がない（他2件）
- ・ 使用しているソフトの看護サマリー使用のため

《短期入所生活介護》

- ・ 他事業所や病院からの情報で使用されていることがなかったため
- ・ 情報提供必要時は施設で使用する介護記録ソフトで作成した看護サマリーを使用していたため（他4件）

《小規模多機能型居宅介護支援事業所》

- ・ グループ独自で使用している様式があるため（他1件）
- ・ 医療機関にもあまり浸透していないため

《認知症対応型共同生活介護》

- ・ 使用する機会がなかった（他6件）

《地域密着型特定施設入居者生活介護》

- ・ PCソフトから日常の状態が反映されている情報を使用している

《地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護》

- ・ 情報提供必要時は施設で使用する介護記録ソフトで作成した看護サマリーを使用していたため（他1件）

《看護小規模多機能型居宅介護》

- ・ 事業所独自のものを使用しているため

《介護老人福祉施設》

- ・ 当施設から情報提供する機会がなかったため（他1件）※受け取ることはあります
- ・ 情報提供必要時は施設で使用する介護記録ソフトで作成した看護サマリーを使用していたため

《介護老人保健施設》

- ・ 使用する機会がなかった

《介護医療院》

- ・ 退所・転院がほぼないため

《サ付・有料》

- ・ 施設の書式を使用しているため

○ 見直し等の意見

《医療機関》

- 基本①②に連絡先があるので統一した方がいい。つい②の住所記入やキーパーソンの選択を忘れる。プルダウン方式になってから使用しやすいです
- 部屋調整や対象病棟を検討するにあたり、気管内吸引の有無だけでなく回数の記載もあるとより調整しやすい
- 丁寧なチャートになりすぎて、逆に内容が無いわりに紙の枚数だけ空白で多くなっている。内容が無いなら削除して繰り上げて紙の枚数を減らすよう促してほしい
- 認知症症状でNSコールを押すことができるのか、センサーコールを使用しているのか分かれば病室選択する時に考えやすいと思います
- 食事量の情報（食事摂取量）があると栄養アセスメントしやすいと考えます
- 医療・介護の保険Noを記入できるところがあればいいと思いました

《居宅介護支援事業所》

- ⑩が記入しやすくなりました。ありがとうございます
- 基本ツール→フェイスシート②へのジェノグラムが反映されないので反映されるようにしてほしい
- 各項目が小さいので作成時大変です
- 病院によってはサマリーの内容を情報されていないケースもあるようなので出来るだけ共有していただきたいです
- いつもお世話になっております。見直しは不要かと思えます。ただ急ぎの時など使用しているツールや書式で情報提供することが多いので、できることなら共有できるネットやシステムがあればよいかと思います。
- もう少しシンプルにしてほしい。現在使用中のものと同リンクできれば良いと思う
- 入院は数件ありましたが入院時は施設職員（看護師）が作成しています。新規入居に関してはサマリーで情報交換をしています

《訪問看護》

- 使いやすいため特にありません

《小規模多機能型居宅介護支援事業所》

- 内容的には見直していただきたい箇所はないものの、基本ツールの文字のポイントが小さいように感じます

《認知症対応型共同生活介護》

- 入院等があれば情報提供として活用させていただいています。記入しやすく、見やすく、大変助かっております。ありがとうございます
- 今回、介護連携サマリーを施設にあるものと置き換えたら救急搬送時は病院側も情報の確認がしやすいのかと感じました

《介護老人福祉施設》

- CSVファイル等で連携できるとうれしい

情報共有ツール作業部会 はこだて医療・介護連携サマリー モニタリング
 ○活用状況調査集計結果 R4.7.1～R4.12.31分

《所属機関》

種 別	(n=29)			(n=26)		
	第2回			第1回		
	R4.7.1～R4.12.31分			R4.1.1～R4.6.30分		
	配布件数 (a)	回収件数 (b)	種別ごと 回収率 (b) / (a)	配布件数 (a)	回収件数 (b)	種別ごと 回収率 (b) / (a)
① 入院医療機関	2 件	1 件	50%	2 件	2 件	100%
② 居宅介護支援事業所	19 件	8 件	42%	19 件	9 件	47%
③ 包括支援センター	2 件	1 件	50%	2 件	2 件	100%
④ 訪問看護	7 件	5 件	71%	7 件	2 件	29%
⑤ 短期入所生活介護	7 件	0 件	0%	7 件	0 件	0%
⑥ 短期入所療養介護	3 件	0 件	0%	3 件	0 件	0%
⑦ 特定施設入居者生活介護	11 件	2 件	18%	11 件	0 件	0%
⑧ 小規模多機能型居宅介護	9 件	3 件	33%	9 件	3 件	33%
⑨ 認知症対応型共同生活介護	14 件	2 件	14%	14 件	1 件	7%
⑩ 地域密着型特定施設入居者生活介護	0 件	0 件	0%	0 件	0 件	0%
⑪ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	5 件	1 件	20%	5 件	2 件	40%
⑫ 看護小規模多機能型居宅介護	0 件	0 件	0%	0 件	0 件	0%
⑬ 介護老人福祉施設	4 件	1 件	25%	4 件	1 件	25%
⑭ 介護老人保健施設	3 件	1 件	33%	3 件	1 件	33%
⑮ 介護医療院	1 件	1 件	100%	1 件	0 件	0%
⑯ サ付・有料	26 件	3 件	12%	26 件	3 件	12%
合 計	113 件	29 件		113 件	26 件	

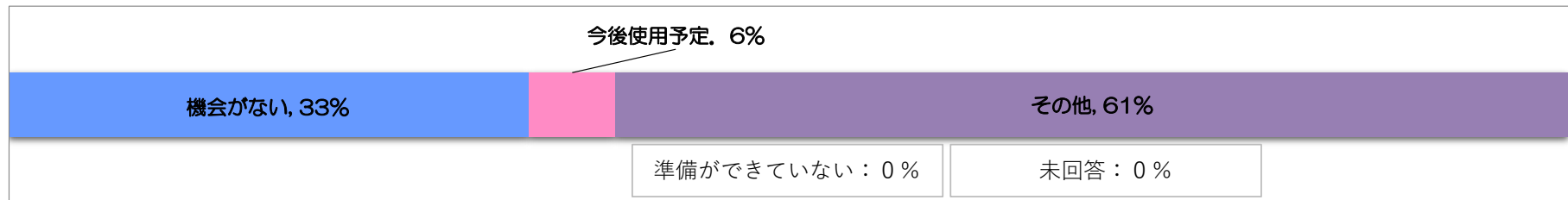
(1) 貴所属機関では、「はこだて医療・介護連携サマリー」（以下「サマリー」と表記）を作成し、情報共有に活用されたことがありますか。

項目	第2回		第1回	
	R4.7.1~R4.12.31分		R4.1.1~R4.6.30分	
	受取件数	割合	受取件数	割合
① はい	11件	38%	10件	38%
② いいえ	18件	62%	16件	62%
合計	29件		26件	



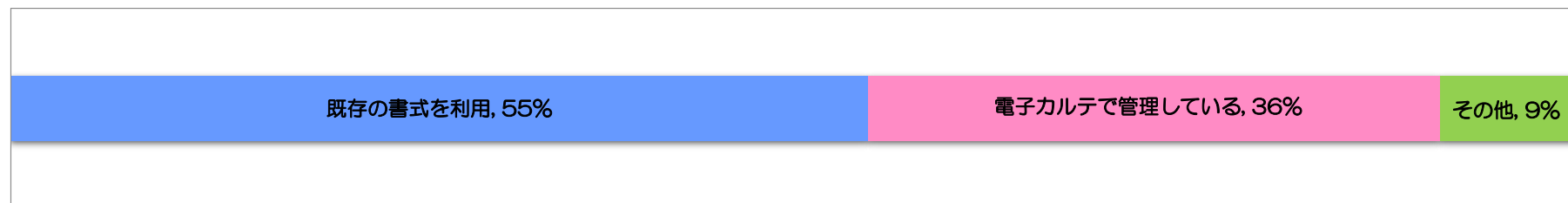
・②いいえの理由。

項目	第2回		第1回	
	R4.7.1~R4.12.31分		R4.1.1~R4.6.30分	
	受取件数	割合	受取件数	割合
■活用していないとの回答のうち	18件		16件	
① 機会がない	6件	33%	6件	38%
② 今後使用予定	1件	6%	0件	0%
③ 準備ができていない	0件	0%	0件	0%
④ その他	11件	61%	9件	56%
⑤ 未回答	0件	0%	1件	6%



・②いいえのうち、その他の理由。

項目	第2回		第1回	
	R4.7.1~R4.12.31分		R4.1.1~R4.6.30分	
	受取件数	割合	受取件数	割合
■その他との回答のうち	11件	/	9件	/
① 既存の書式を利用	6件	55%	5件	56%
② 電子カルテで管理している	4件	36%	1件	11%
③ その他	1件	9%	3件	33%



(2) (1)で「①はい」とお答えされた方にお伺いします。

ア 令和4年7月1日から令和4年12月31日までの期間で、何件の「サマリー」を作成されましたか？

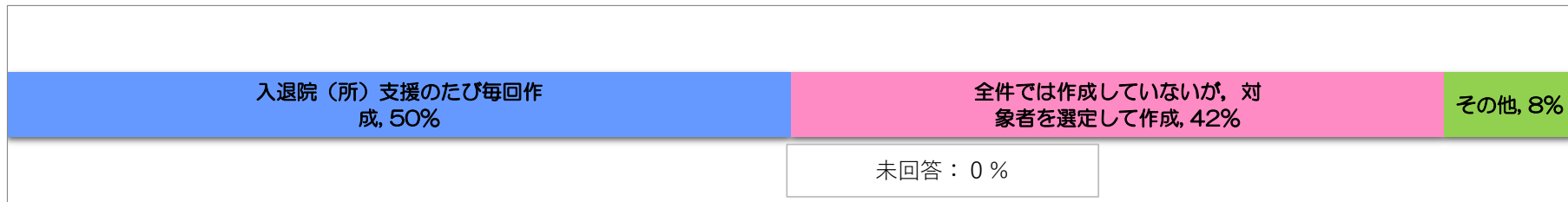
<ul style="list-style-type: none"> ・最大作成件数は16件 ・1機関の平均活用件数は7件

イ どのような機会に作成し、活用していますか。(複数回答あり)

項目	第2回		第1回	
	R4.7.1~R4.12.31分		R4.1.1~R4.6.30分	
	受取件数	割合	受取件数	割合
① 入院(所)時	11件	92%	10件	77%
② 退院時	1件	8%	2件	15%
③ 転院時	0件	0%	1件	8%
④ サービス事業所へ(新規依頼時等)	0件	0%	0件	0%
⑤ その他	0件	0%	0件	0%
⑥ 未回答	0件	0%	0件	0%
合計	12件	/	13件	/

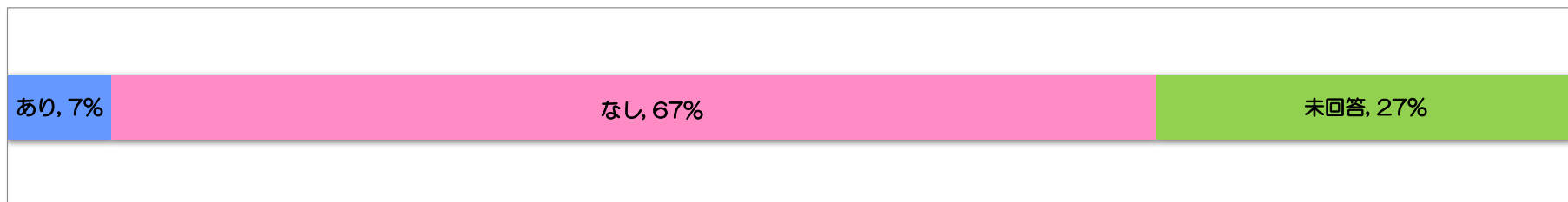
ウ どのくらいの頻度でお使いですか。（複数回答あり）

項目	第2回		第1回	
	R4.7.1~R4.12.31分		R4.1.1~R4.6.30分	
	受取件数	割合	受取件数	割合
① 入退院（所）支援のたび毎回作成	6件	50%	7件	58%
② 全件では作成していないが、対象者を選定（または限定）して作成	5件	42%	2件	17%
③ その他	1件	8%	3件	25%
④ 未回答	0件	0%	0件	0%
合計	12件		12件	



(3) 「サマリー」の内容について、見直しが必要な箇所があると思われますか。

項目	第2回		第1回	
	R4.7.1~R4.12.31分		R4.1.1~R4.6.30分	
	受取件数	割合	受取件数	割合
① あり	2件	7%	8件	31%
② なし	20件	67%	12件	46%
③ 未回答	8件	27%	6件	23%
合計	30件		26件	



○ 作成しない理由

《入院医療機関》

- 他の様式を使用しているため

《居宅介護支援事業所》

- 使用しているソフト内に情報共有シートが入っている

《包括支援センター》

- ほのぼのシステムでの基本情報のやりとりで対応可能なため（他4件）
- 活用場面がなかったこと

《訪問看護》

- 受けることはあっても提出する場面がない（他1件）
- 使用しているソフトにサマリーの形式があり、登録している利用情報が反映されるためそれを使用している

《特定施設入居者生活介護》

- 自社使用中の介護ソフトで作成しているため（他1件）

《小規模多機能型居宅介護》

- 活用の機会が無かったため
- いつも使用している書類から打ち直さなければならないため

《認知症対応型共同生活介護》

- 使用する機会がなかったため
- 今後活用していきたいと思います

《地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護》

- 施設使用の介護ソフトで作成しているため

《介護老人福祉施設》

- 元々使っているものがあったため

《介護老人保健施設》

- 施設内で使用する体制がまだできていない
- 施設で使用している介護ソフトを使用しているため

《介護老人保健施設》

- 活用機会がなかったため

《サ付・有料》

- わかりにくく、記載しにくい

○ 見直し等の意見

《居宅介護支援事業所》

- フォントが小さいときにはFAXでは文字がつぶれてしまい見えにくいことがある
- 医療情報等の記入スペースが少ない。特別な医療等の項目が多く、記入が難しい

《訪問看護》

- 実際に作成したことはないが、「サマリー」で情報提供いただいたことはあります。応用ツールが項目ごとに分かれていることで利点はあると思いますが、医療面が多重にある場合に応用ツールの用紙が何枚にもなったり、共通することが重複して記入されたりすることはないだろうかと思われます

令和4年7月吉日

“ID-Link活用推進に向けた試験運用”にご協力いただいた皆さまへ

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、この度は標記についてご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

函館市では、医療・介護関係者の連携を推進するため、函館市医師会を始めとした各専門職の職能団体の代表により全市的な規模で組織された『函館市医療・介護連携推進協議会』において、関係者の情報共有のあり方を協議するため、有識者による「情報共有ツール作業部会」を設置し、地域で統一された情報共有ツール「はこだて医療・介護連携サマリー」（以下、「サマリー」）を作成し、その普及に向けて取り組みを進めてまいりました。この取り組みは、近い将来、病院、在宅および施設間において、よりシームレスな情報共有を行うためICT化を目指しているもので、このたびの道南地域医療連携協議会（道南 Medlka）と協働してのID-Linkを活用した情報共有の有用性を検証するための試験運用の運びとなりました。

つきましては別紙「ID-Link活用に関するヒアリング項目」に沿って、活用にあたってのご意見をお伺いできれば幸いです。皆さまからいただいたご意見をもとに、医療・介護間でのID-Linkを活用した連携推進に向けた検証を行わせていただきたいと思います。

お手数をお掛けいたしますがご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

記

- <情報共有ツール名称> ID-Link
はこだて医療・介護連携サマリー（以下サマリー）
- <試験運用期間> 令和4年3月1日～令和4年7月31日
- <試験運用実施機関> 市立函館病院，高橋病院，訪問看護 ST フレンズ
- <試験運用協力機関> 道南 Medlka に所属、もしくは今回の試験運用含め、今後の連携のため道南 Medlka に参入される医療・介護事業所
- <試験運用の内容> 上記、試験運用実施機関と協力機関の連携支援において、ID-Linkを活用した情報共有連携に了承いただいた利用者（患者）さんを対象に下記の 内容で試験運用を実施
- ① 入退院支援の場面にて、サマリーをID-Linkに掲載する双方向共有の検証 ⇒ 「市立函館病院」にて実施
 - ② ①を含めたチーム間連携の検証 ⇒ 「高橋病院」「訪問看護 ST フレンズ」にて実施
- ※ ①②の試験運用の中で、介護側が必要としている機能や情報、及び課題について確認していく。（ヒアリング調査）

[お問い合わせ先]

函館市医師会病院内 函館市医療・介護連携支援センター 担当：佐藤，近藤

Mail: ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp 電話：43-3939 FAX：43-1199

ID-Link活用に関するヒアリング項目

「ID-Link」についてお聞きします

- 1、公開されている情報の中、どの情報が支援の中で活用できましたか
(複数回答可)
① 処方 ② 注射 ③ 検査結果 ④ 読影 ⑤ 文書 ⑥ プロGRESSノート
⑦ バイタル ⑧ 画像 ⑨ 心電図
- 2、ノート機能の活用(サマリーの共有含む)にて、情報を受けた際、どの職種の情報を確認しましたか(複数回答可)
① 医師 ② 訪問看護師 ③ ケアマネジャー ④ 施設関係者
()
⑤ 介護サービス事業所() ⑥ 医療機関 ⑦ その他
()
⑧ 確認していない
- 3、自身が発信する情報についてどの機能を活用しましたか(複数回答可)
① ノート機能 ② サマリーのアップロード ③ その他() ④ 確認していない
- 4、ID-Linkの便利なところ、連携がスムーズになったことについてお聞かせください
- 5、ID-Linkを活用した連携の中で困ったこと、迷ったこと、使い方が分からなかったことなどについてお聞かせください
- 6、その他、ご意見やご要望などあればお聞かせ願います

ご協力ありがとうございました。

第4回 医療・介護連携 IDリンク活用推進ワーキンググループ

日時：令和4年11月24日 18:00～ ZOOM 開催

内容：試験運用実施報告

○「道南メディカ活用連携」の試験運用ヒアリング結果について

- 1) 試験運用実施機関へのヒアリング結果
- 2) 協力機関へのヒアリング結果（グラフ）
- 3) 協力機関へのヒアリング結果（意見）

《試験運用協力機関一覧》

No.	実施機関	種別	協力機関
1	市立函館病院	病院	高橋病院
2		訪問看護	訪問看護STホーム
3		訪問看護	訪問看護STひなた
4		訪問看護	訪問看護STほくと
5	高橋病院	訪問看護	訪問看護白ゆり
6		訪問看護	訪問看護オハナ
7		訪問看護	訪問看護めぐみ
8		介護付き有料老人ホーム	あんじゅう七重浜
9	フレンズ	居宅介護支援事業所	ケアプランセンター愛の羽
10		居宅介護支援事業所	あんしん松風
11		居宅介護支援事業所	居宅いろは
12		デイケア	DC今整形外科
13		デイサービス	DSほたる

「道南メディカ活用連携」の試験運用ヒアリング結果について

1) 試験運用実施機関へのヒアリング結果

ヒアリング内容

・長年活用されている機関であるからこそ感じるメリットやデメリット（違和感や連携に伴う不具合等）について試験運用を通じて見えてきたこと

市立函館病院～

<メリット>

- ・施設への情報提供をFAXしなくても良い。その手間が省けている
- ・誤送信等のリスクも回避できている
- ・訪看の指示書や印鑑が必要な書式については、スキャンが必要にはなるが、確実に業務量は軽減できている
- ・現在、関わっている事業所それぞれに情報提供しているが、それがID-Linkで一度に行うことができるようになるのであれば更に助かる。参加する介護事業所が増えるとありがたい。増えてほしいと期待している
- ・ケアマネには介護側の参加拡大の入り口のような役割を担ってほしい

<デメリット・課題>

・同意のあり方とか変わるのかな？何かしらルールはもたないと都合よく解釈する人が出てきた時に良いものが悪いものになってしまう。便利だからこそルールをしっかり決めた方が良いのではないか

介護関係者との同意の在り方を新たに設定するのか

高橋病院～

<メリット>

- ・処方と検査結果を見てくれるだけでも、公開施設の負担は軽減している。結果を知りたいという問い合わせが少なくなっているため、業務負担の軽減につながっている
- ・ID-Linkにも介護員が使えるようになればと思う。現在はNsとしか行っていないが、介護員にも見てほしい、やり取りすることが増えればと思っている

<広め方のアドバイス>

- ・これまでの経験で考えると、利用促進につながるには流れがあり、強制してもダメ。拒否感が強くなるだけ。思いが一緒だったら自然と繋がり慣れていく。最初の導入時は閲覧だけでもいいと思っている。まずは閲覧に慣れ、相手側から求めがあったり、必要となるタイミングに利用できる機能を説明していくと強制しなくても機能の技術を取得していくことに繋がる。現場の情報連携の際に日常使いしてもらえればと思う
- ・介護機関へのフォローは実際にやる機関同士でやっていけたらよいと思う
- ・たとえば多職種研修会などで川口先生に、ID-Linkを用いて多職種が情報共有し、症

例検討で利用している様子を発信してはどうか。サマリーやACPも絡めて、共感できるような、あたたかくなるような研修が良いと思う。難しく感じる研修でなく、ID-Linkを使うと、関わるスタッフが利用者や家族の思いなど、同じ情報を共有しながら繋がり、支えていくことができますよというような…

<デメリット・課題>

- ・課題はSECからの情報提供スライドと同じ（下記）
- ・運用にしる、システムにしる、資格に応じて制限する場合は、利用者の管理（登録、削除）が必要になる
- ・利用者の管理はどこでやるのか。事務局？医療・介護連携センター？施設に管理者を設け、任せる？
- ・一部ネットワークは利用者に講習の受講を求め、受講終了後にログインIDとパスワードを渡している

訪看 ST フレンズ～

<メリット>

- ・ケアマネが月一回訪問した後の情報と訪看が得ている情報との違いはあった。自分たちは端的な情報の提供となるが、ケアマネはほんわり記入してくれる。文字だけでもそう感じるから、モニタリングに行ったときの雰囲気とかは、きっともっと温かいのではないかと感じる情報になっていた。視点の違いを感じ、ケアマネ特有のものかもしれない
- ・ケアマネの記録を文字化することでケアマネの本質を感じ取ることができた

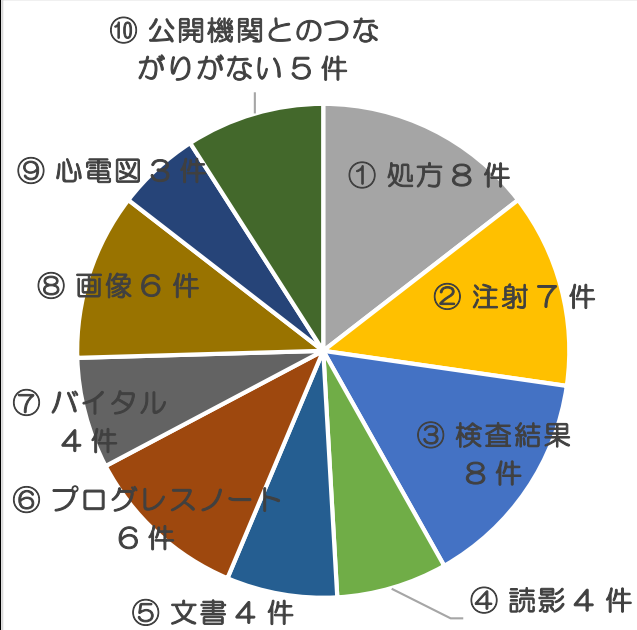
<デメリット・課題>

- ・お願いする居宅の選別など、どのような事例でやるかから迷った
- ・声かけても断られることがあり、担当者は乗り気でも法人がストップをかけるという場合があった。
- ・苦手意識の強さを感じた

2) 協力機関へのヒアリング結果 (グラフ)

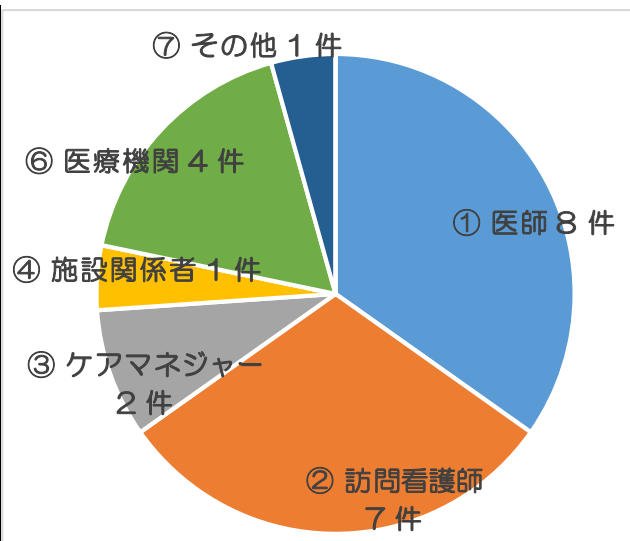
①公開されている情報の中、どの情報が支援の中で活用できましたか (複数回答可)

項目	回答件数	割合
① 処方	8 件	15%
② 注射	7 件	13%
③ 検査結果	8 件	15%
④ 読影	4 件	7%
⑤ 文書	4 件	7%
⑥ プログレスノート	6 件	11%
⑦ バイタル	4 件	7%
⑧ 画像	6 件	11%
⑨ 心電図	3 件	5%
⑩ 公開機関とのつながりがない	5 件	9%
合計	55 件	



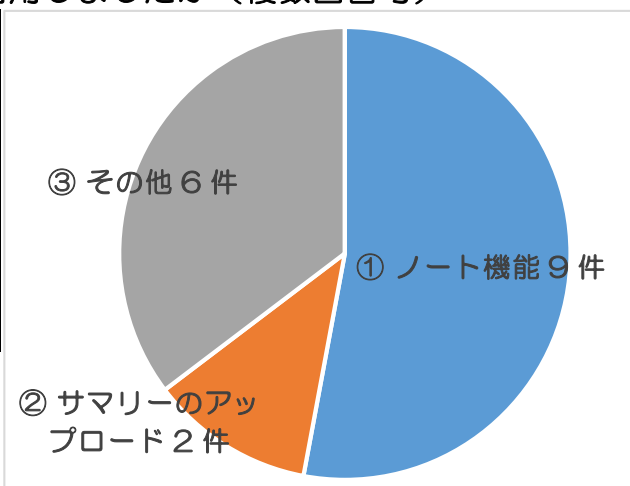
②ノート機能の活用 (サマリーの共有含む) にて、情報を受けた際、どの職種の情報を確認しましたか (複数回答可)

項目	回答件数	割合
① 医師	8 件	35%
② 訪問看護師	7 件	30%
③ ケアマネジャー	2 件	9%
④ 施設関係者	1 件	4%
⑤ 介護サービス事業所	0 件	0%
⑥ 医療機関	4 件	17%
⑦ その他	1 件	4%
⑧ 確認していない	0 件	0%
合計	23 件	



③自身が発信する情報についてどの機能を活用しましたか (複数回答可)

項目	回答件数	割合
① ノート機能	9 件	53%
② サマリーのアップロード	2 件	12%
③ その他	6 件	35%
④ 確認していない	0 件	0%
合計	17 件	



3) 協力機関へのヒアリング結果（意見）

- 協力機関には今回の試験運用の状況に加え、これまでの連携についても確認している

■急性期病院（公開病院）との連携 市立函館病院にて実施

（①：入退院支援の場面にて、サマリーをID-Linkに掲載する双方向共有の検証）

- ・公開情報は有効活用されている（医療機関によって公開情報に違いがあるので、連携する機関の情報を把握する必要がある）
- ・サマリーなどの情報提供がスムーズ
- ・ノート機能は急性期での活用は難しい傾向がある（内容の確認作業と返信についての取決めが必要になる）

意見集約

- ・入院中の経過を確認できるので、退院の目途をつけることができる⇒退院後のサービスのアセスメントができる
- ・情報収集する事で連携がスムーズにいく⇒時間（業務）の短縮

■訪問診療との連携

高橋病院にて実施（②：①を含めたチーム間連携の検証）

- ・ノート機能での連携が有効
 - *チーム内で取決めを相談しやすい
 - *訪問診療をしている病院（クリニック）との連携は、特にノート機能が有効
- ・画像添付は、文章で表現しなくてもいいので時間短縮になる
- ・公開情報（採血、処方など）を確認し、すぐに支援に反映

意見集約

- ・画像の添付は有効
- ・同じ内容を見て確認でき、連携がスムーズにいく
- ・在宅の情報がお互い（訪問診療や訪問看護）に共有できる
- ・病院との連絡がスムーズになった
- ・正確に情報が伝えられ、記録にも残る

■在宅サービス間の連携

訪看 ST フレンズにて実施（②：①を含めたチーム間連携の検証）

- ・ノート機能での連携が有効
 - *訪問で外にでている職種との連携が特に有効

意見集約

- ・リアルタイムでみる事ができる
- ・複数で同時にみる事ができるので伝達が正確
- ・画像の添付は有効
- ・CMへの情報提供に有効

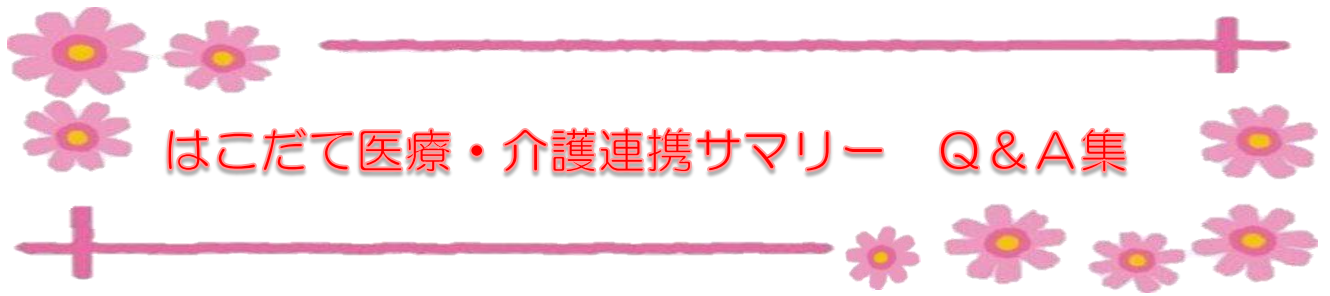
■その他の意見

- 介護関係者が医学的な面で分からないところがあっても、薬の内容などクリックするだけで情報を確認できるので便利に使えるのではないか
- FAX等だとどうしても、事務所に帰らなければならないが、ID-Linkだと自宅でも車の中でも伝達が可能
- 夜間帯の緊急訪問など報告の時間が気になるときはID-Linkが便利
- セキュリティもしっかりしているので特に心配なことはない
- ID-Linkに入れた内容（自分たちの記録として）を印刷して、ID-Linkを使っていない機関にFAXしたりしている
- 各データが見えることにより、自分たちケアマネも勉強する必要があると思う。スキルアップにつながる

■課題

意見集約

- 使い方がわからない（使う頻度が少ないと、ますます使えない）
⇒メリットを伝える必要がある。利用に慣れるまでサポートが必要
- 参加者登録が活用されていない。既読後のお知らせ機能が無いため、確認が必要
⇒確認、返信等の連絡方法をお互いに擦り合わせる必要がある
- 使いたい機能の使い方がわからない
- ノート機能活用時、医療関係者への入力内容を考える必要がある
⇒苦手意識に繋がり、活用を妨げる可能性があるのではないか
- 多職種が利用するといいい
- 手続き等が複雑



(R5年3月 掲載予定分)

Q1. 基本ツール→フェイスシート②へのジェノグラムが反映されないので反映されるようにしてほしい。

A1. 自動で反映はされないのですが、コピー&ペーストが可能なようにいたしました。

情報共有ツール作業部会 はこだて医療・介護連携サマリー 活用状況調査集計結果 R4.7.1～R4.12.31分 (n=124)

○貴所属機関では、「はこだて医療・介護連携サマリー」（以下「サマリー」と表記）を作成し、情報共有に活用されたことがありますか。



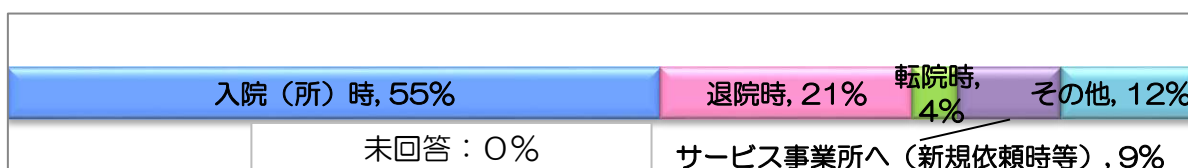
○上記いいえの理由。



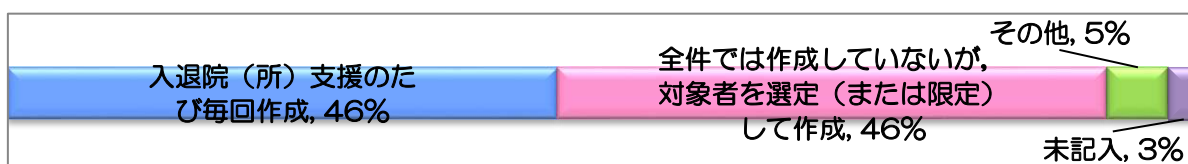
○ア 令和4年7月1日から令和4年12月31日までの期間で、何件の「サマリー」を作成されましたか。

- 最大作成件数は850件
- 1機関の平均活用件数は21件

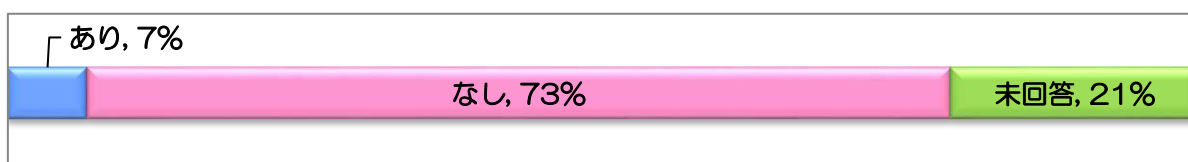
○イ どのような機会に作成し、活用していますか。（複数回答あり）



ウ どのくらいの頻度でお使いですか。（複数回答あり）



○「サマリー」の内容について、見直しが必要な箇所があると思われますか。



はこだて医療・介護連携サマリー【基本ツール②】 在宅⇒病院用

情報提供先施設名称	御中	情報提供先担当者名	様
-----------	----	-----------	---

氏名	
----	--

医療・介護サービス利用状況	週間スケジュール						
	月	火	水	木	金	土	日
	AM						
PM							
備考							
	サービス内容	サービス提供事業所・担当者			主なサービス内容等		
	()						
	()						
	()						
	()						
	()						
	()						
	()						
	()						
	()						
	()						
	()						
	()						

生育歴・生活歴	
---------	--

家族構成図	<input type="checkbox"/> = 男性 <input type="checkbox"/> = 女性 <input type="checkbox"/> = 本人 <input type="checkbox"/> = 本人 KP = キーパーソン
	縦書きテキスト ストボックス

氏名	続柄	関係	連絡先
1 (住所)			
(備考・携帯番号等)			
就労状態		健康状態	
2 (住所)			
(備考・携帯番号等)			
就労状態		健康状態	
3 (住所)			
(備考・携帯番号等)			
就労状態		健康状態	

本サマリーの記入者	所属名	
電話	FAX	
記入者	作成日	